令和３年度　白川小学校の学校経営

☆ 学校教育目標

家庭・地域とともに「自ら学び、たくましく生きる心豊かな子ども」を育成する

☆ めざす子ども像

〇進んで学ぶ子　　〇強い心と体の子　　〇自分と友だちを大切にし、助け合う子

☆ めざす学校像

「学び」と「つながり」と「けじめ」のある学校

- あたり前のことがあたり前のこととして守られる集団、落ち着きがあり、ルールが守られ、けじめのある学校・学級でこそ、「学び」「つながり」「安心」が生まれる。

教職員の連携

・協力、協調、協働の精神で働く集団
・組織的な対応を基本とする集団
・人間性を磨き、資質や能力を高め合う集団

地域連携

・地域人材による菊づくり、米づくり指導等
・子どもの安全見守り隊による安全・生活指導
・放課後子ども教室での体験的な活動、安全な放課後活動の場
・地域団体による諸行事をとおした連携

子どもにとって魅力的な学校

・学校に行けば、大好きな先生の笑顔に会える
・授業はわかりやすく、楽しい
・話せる、遊べる、受け入れてくれる友だちがいる
・クラスの中で大切にされ、認められる
・ルールが守られ、安全安心な場所である
・自らの良さや成長が実感できる

保護者との連携

・信頼関係構築に向けた積極的な情報発信
・実態を踏まえた実証的な連携
・共育を精神とする協調的な連携

具体の取組

〇授業（学力・体力向上）に結びつける研究
・茨木っ子プランネックスト 5.0 に沿い、的確な実態把握と分析に基づく具体性のある目標設定と取組の研究・実践を進める。
＊保幼小中連携の充実
・互いの授業や取組から学び合うＯＪＴの推進
・他校の優れた取組から学ぶ。（市教研等、横のつながりを広めて。管外出張）

〇個に応じた指導・支援の工夫
・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」は、継続性と一貫性のある指導のためのツール。
・どの子にもわかりやすい授業づくり

〇つながりを大切にする学校・学級づくり
・自分の思いを語り、一人ひとりのちがいを認め合い、つながり、共に高め合うことのできる集団づくり。
・行事等での協力・協調、そして達成感
・教師として子どもの人格を尊重し、良いところやできていることを褒め、自己有用感を育む。
・いじめの早期発見対応、解決、再発防止

〇諸会議をとおした意思疎通
・「１人が１０回言うよりも、１０人が１回同じことを言う」方が効果がある。

◎「白川小スタンダード」をもとに教職員が一枚岩となって指導し、徹底すべきは徹底する。
◎「GIGA スクール構想」の実現・実施に向けて、学校を上げて取り組んでいく。